



インポートタイルを使った造作の洗面台は女性に大人気。バスルームにはピクチャーウィンドウを設け、くつろぎの空間に。



ベッドルームは洋風。スペイン産の塗り方も居間とは異なって雰囲気を一新。[ハウスランド社]の職人の高い技術力が光る



「風のくら」の打ち合わせスペース。「ここにきてイメージが膨らんだとおっしゃる方も多いです」と奥さん



浮遊り仕上げの小国杉にスペイン産の壁が違和感なくマッチした居間。土間との間をつくり添はフランス製のガラスを入れた造作だ



ハウスランド社  
三上 葵さん

ここ筑紫野市山口の「風のくら」のほか、筑紫野市吉木にも「和の家[吉木]」を展開。また違った雰囲気の家が見学できる（要予約）

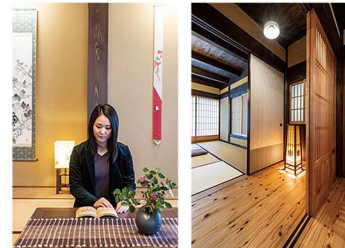
風のくら  
筑紫野市大字山口2122  
開館日 木・金・土・日



母屋に隣接した古い蔵もリノベーション。1層はタイルなどのショールームに2層は蔵裏のオーディオルームは男性に好評



フラットに続く床の間のスペース。襦や畳のヘリの色なども参考になる



右、居間と和室の間にファンクションスペースを置く、ちょっと格式が上がった雰囲気。/左、季節のあしらいも楽しめる和室

Company Profile

株式会社 ハウスランド社

和の家「吉木」  
福岡県筑紫野市大字吉木344-1  
TEL 092-922-8771  
http://www.h-land.jp

●詳しい情報はP000に掲載

す。日本では杉を使ったところ、ヨーロッパではパインやオークを使うなど、地元の素材が違っただけ。双方を合わせることでインテリアのイメージも自由に広げられるような、ニュートラルで懐の広い空間が仕上がります。一から造り上げる新築の家でも、このムードは十分実現できますよ」と三上社長。

そんな「ハウスランド社」には昨年より、将来3代目として社を支えていく三上葵さんが入社。大学で建築を学び、住宅メーカーでも経験を積んだ葵さんは「女性目線での住宅づくりにも力を入れていきたい」と笑顔で語る。

同社のHPもぜひ一度、目にしてみて欲しい。これまで手がけた施工事例に加え、リビング、キッチン、洗面、バスルームなど、パーツやディテールごとに造作など見ることができ、家づくりを考える際、大いに役立つはずだ。

なお「風のくら」は要予約。事前にお問い合わせのち、見学を。

「新築でも古民家の空間を手に入れたい」という施主の多くが惹かれていたのが、和でもない、洋でもない「ハウスランド社」の空間づくりだ。こちらの展示場「風のくら」でも、土間やキッチンには洋のムードが多く取り入れてあり、居間は大正ロマン風、隣接する和室はとどこころにもモダンな要素も取り入れた正統派。なのに、それらが違和感なく共存しているところが興味深い。「日本の古民家もヨーロッパの古民家も、自然素材のいいものを取り入れた家である」という点で共通しているんだ

和でも洋でもない  
懐の広さが魅力